



瀬戸市空家等対策計画検討会議

9月17日(木) 文化センターで、第1回「瀬戸市空家等対策計画検討会議」を開きました。この会議は、市内の空き家を有効利用する方法や、防災・衛生上の対策を検討し、「瀬戸市空家等対策計画」を策定するために設置するものです。

市では人口の減少に伴い空き家が増加傾向にあり、空き家の利活用はこれからのまちづくりを考える上で重要な課題となっています。

委員からは「地域ごとの特色を活かした対策をすべき」「使い方によって魅力的に活用できる」などの意見があり、市長は「空き家を有効利用し、定住や流入の人口増加につなげ、地域の活性化を図っていきたい。」と述べました。



年度	人口(人)	総戸数(戸)	空き家	
			戸数(戸)	割合(%)
平成15年	132,053	52,350	6,190	11.8
平成20年	132,996	55,790	6,540	11.7
平成25年	132,130	57,260	7,210	12.6

瀬戸市の空き家数と空き家率の推移

せと夢・まち未来 わ だん かい 輪談会

9月28日(月)・30日(水) 「第6次瀬戸市総合計画」の策定に向け、「せと夢・まち未来 輪談会」を開催しました。

この会合は、10年先を見据えた瀬戸のまちづくりについて、市民の皆さんの声をうかがい、平成29年3月に公表する「第6次瀬戸市総合計画」の策定に活かすために、市内の20小学校区で開催していくものです。

28日は道泉小学校区で、30日には東明小学校区で輪談会を開催し、「子育て」「インフラ整備」など、テーマごとに分かれて意見交換を行いました。

参加者からは「長く住み続けるためには子育てを基本とした福祉に力を」「まちの活性化のために人が来るようなイベントを」など、活発な意見が出され、市長は「10年先を見据えたさまざまなご意見をいただきました。この皆さんの熱い思いを形にしていくのが私たちの役割。輪談会の回数を重ねて、より深化させていきたいと思えます。」と述べました。

東明小学校区での輪談会に参加した大学生の鈴木晶美さんは「将来、地域に貢献できる仕事がしたいと思っており、今日は瀬戸市が抱える問題や課題を知ることができればと参加しました。さまざまな世代の方の意見を聞くことができ、とても有意義な時間でした。」と話してくれました。



「総合計画」とは

市の行政運営における最上位の計画です。瀬戸のまちづくりの基本的な指針となるもので、10年先を見据えた本市の将来像と、その実現のための方針や具体的な施策などを記載したものです。本市ではこれまで5次にわたって総合計画を策定しており、今年度は第5次総合計画の最終年度となっています。

くわしくは市ホームページ「[市政情報](#)」→「[計画・施策](#)」をご覧ください。

第6次瀬戸市総合計画策定 ご意見募集 ④経営課 ☎88・2521

市では、10年先の瀬戸市を描く「第6次瀬戸市総合計画」策定に向け、アイデアや身近な生活の中で気づかれることなど、広く市民の皆さんの声を計画づくりに活かすための意見募集を行います。多くの皆様のご意見をお待ちしています。

【募集期間】11月4日(水)～30日(月)必着

【意見記入用紙配布場所】市政情報コーナー(市役所3階)、支所、サービスセンター、やすらぎ会館、瀬戸蔵

※市ホームページ「[お知らせ](#)」からもダウンロードできます。

【提出方法】市ホームページ「[お知らせ](#)」から、または意見記入用紙に必要事項を記入し、郵送・FAX・窓口へご提出ください。

【送付先】〒489-8701(住所不要) 経営課「第6次総合計画市民意見募集」係 FAX 21・6607